

特集/せかいの中のとやま

〈座談会〉

国際交流見々学々



国際交流のつとめ(9月17・18日、合掌の里にて)

エッセイ/船尾美津子

「山麓に住んだから」——表紙2

ここまで進みました、富山県民総合計画——P. 16

TRIP県政

富山県総合防災訓練——P. 20

ふるさとみてる記

大沢野町——P. 22

PIN UP TOYAMA

モトクロス——P. 14

シリーズ:とやま心象 ことば

継承される建築と心——表紙3

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報

とやま

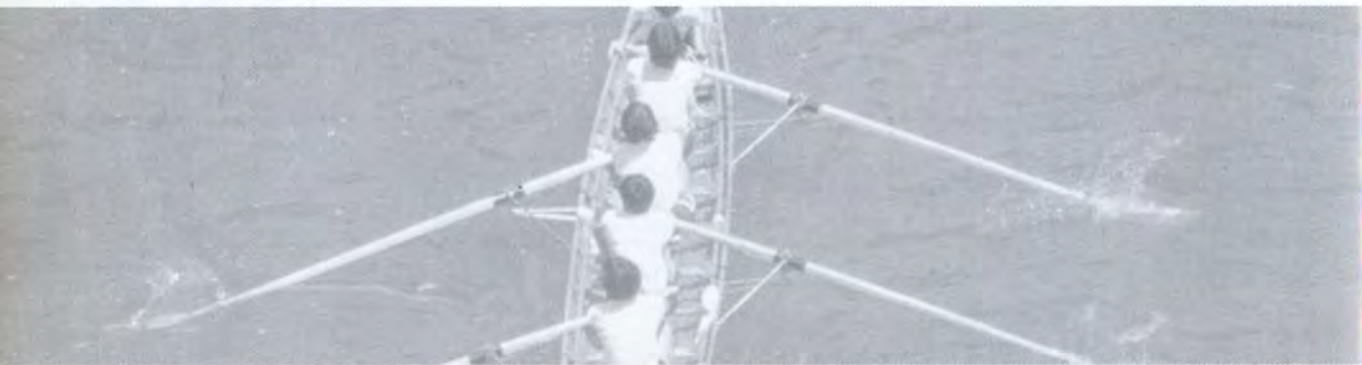
1988
No.237

10



大活躍の夏

国体で見せつけたボート王国の実力
——八尾高校ローイング部



九月四日から七日まで京都で開かれた夏季国体。水泳、ボートなど県勢は大活躍。八尾高校ローイング部では、少年女子シングルスカルで横江由希子さんが優勝、少年女子かじつきフォア（笹川、吉井、木下、吉山、山下さん）で優勝、同じく少年男子（山本、宮口、増山、中川、村田さん）で三位入賞を果たしました。

八尾高校にローイング部ができたのは二十二年。特色ある学校づくりにと創設された県内唯一の高校ボート部です。現在部員は三十名。

「兄がやっているのを見てカッコいいと思って」「珍しかったから」「強かったから」「先輩に誘われて」と入部の動機はさまざまですが、全員ボートは初めて。

練習は、十二キロ離れた神通川で、放課後六時すぎまでみっちり。でも、十一月から三月までは、川での練習はできません。そんな雪国のハンディを基礎体力でカバーしようと冬期はひたすら室内トレーニングです。

「練習は、涙が出るほど辛いけど、体力も精神力もつきました。」「北海道や沖縄などへ行けてラッキー。」「いい仲間ができたことが一番うれしい。」と面々。

プレッシャーを乗り越えて七連覇を成し遂げた女子。四分を切る好記録で世界ジュニア選手権出場の実力を見せつけた横江選手。初の三位入賞を果たした男子。八尾高校クルーは、ボート王国とやまの力を見せつけました。

三年生は国体を最後に引退。進学、就職を控え、今はエネルギーを勉強に注いでいます。「卒業後も続けます」。クルーたちは、真っ黒にボート焼けした笑顔で答えてくれました。



山麓に住んだから

エッセイ

歩く人々に会うことも多い。日常をはなれてきた彼らの目は、一様に興味深げで、素直な目をしている。買物に行ったり、ゴミ捨てに行ったりと至極日常的な作業をしている私は、そんな目に見つめられると、どういっわけか、いつもおたゞとしてしまうのである。それが唯、私の性格がらくるものばかりとも思えない。とすると、山村に十三年も暮らしているのに、まだ旅をしているような気分が、どこかに根強くある私だからなのだろうか。そういえば、山麓のスキー場や立山で、

重いゴミ袋をぶら下げて、ひよいど外に出ると、数人の見知らぬ人々にはつたり出会った。早朝たつたから身着もそこそこで、不用意にとび出した私は、急に恥しくなつて、あわてて髪に手をやけどしたが、間に合う苦もなかった。若い男女は、揃いのシャツにニットカボツカをはいていた。どこか大学の山岳部だろうか。私の家は、薬師岳の登山口である地鉄、有峰口駅から歩いて二分の所にあるから、大きなザックを駅に置いて、村の中を

船尾美津子（随筆家）

観光客から「どちらからですか」と聞かれると、「地元です」と答えるのだが、何となく嘘をついているようなうしろめたさを感じていた。私がおたくにするのは、それと同じ心の動きがあるからかもしれない。日常にすっかりこんで、何でも慣れっこになつてしまつたと、そこから抜け出したいと思うものだが、今のところ、そういう気持はない。それも、山麓に住んでいるおかげで、立山にも度々行くことができて、大自然の中に身をさらすと、日常の垢もすんと洗い流される。いつも感動できる何かが立山にはあって、私の目も素直になる。村を歩く山岳部の若者たちに、おはようと言をかけてみようか。それもひとつのハイキングにちがいない。旅人にとつても、私にとつても。



「MUの彫刻家」AZUMAの足跡

吾妻兼次郎展

九月三日から、近代美術館で「吾妻兼次郎展」が開かれています。吾妻兼次郎は、イタリアへ渡ってマリノ・マリニに師事して以来三十余年の間、ヨーロッパで活躍してきました。そのため、現在、日本でよりもむしろヨーロッパで「MUの彫刻家」

AZUMAとして有名です。本展では、初期の作品から、「無」という題の一連の作品、現在制作し続けている「有」という一連の作品まで、彫刻七十三点を中心に、絵画・デッサンを含む百六十五点を十月二十三日まで展覧しています。



水を生かそう、豊かな未来へ

水と人とくらし「'88とやま国際水シンポジウム」



人類の共有財産「水」を地球的規模で考えようという国際的なシンポジウムが、九月六〜七日、県民会館で開かれました。初日は、海外からの二名を含む専門家四人が講演。その後、分科会に分かれて治水、利水、水辺環境などについて討論しました。二日めには、総括討論、下河辺淳氏による講演が行われ、水に関する国際協力と地域社会の役割についてまとめました。八日には、立山砂防を見学。参加者はダムや砂防工事のスケールの大きさにビックリし、水の威力をまざまざと感じていました。また、期間中、県民会館ロビーでは、名水を用いたお茶、バタバタ茶、名水の試飲、ハイビジョン映写もあり、人気を呼びました。水を幅広くとらえた国際シンポジウムは日本では初めて。県内外から集まった千三百名の参加者は、水のもついろいろな役割を見つめ直しました。

深まる親善、高まる期待

——東南アジア日本留学者の集い開催



第十五回東南アジア留学生の集いが黒部市を主会場に九月七日から三日間行われました。これは、ASEAN六カ国からかつて日本に留学し、今は母国の各界で活躍している方々五十名を招き、旧交を暖めるとともに相互理解を深めようという目的で毎年行われているもの。初日は歓迎のセレモニー、二日めは「留学—いま日本に期待するもの(東南アジア留学生からの提言)」と題してシンポジウムが開催されました。

パネリストにはASEAN六カ国から元留学生代表各一名、日本側からは、吉田忠裕吉田工業副社長、中尾哲雄とやま国際センター常務理事、北山武猛県青年海外協力隊OB会前会長、そしてコーディネーターに佐々学前富山医薬大学長を迎え、意見を交換。留学生代表からは「奨学金制度などの資金援助を充実してほしい」などの声が出されました。

この他、YKK工場見学、宮野山運動公園での昼食会、もちつきなどを楽しみ、友好を深めました。



ふれあってインターナショナル

——婦人国際交流フェスティバル



九月三日から十一日にかけて、県内四会場で婦人国際交流フェスティバルが開かれました。これは、在日外国人家族や留学生との交流をおして国際理解を深めようというもの。

富山、高岡地区は一日、砺波、魚津地区は一泊二日で行われ、合わせて四百五十人の婦人が参加しました。分散会では、国際交流の進め方、婦人の生き方などについて話し合いました。子育て論や付き合い方などホネの意見に思わず爆笑。その他、歌や踊り、そばづくり、バーベキューなどそれぞれにユニークな交流を楽しみました。

せがいの中の子やま

国際交流見々学々



昨年一年間の県のバスポート発給数は、二七、九〇一件。少なくとも県民の四十人に一人は海外へ出かけたこととなります。誰もが気軽に海外へ行くようになり、海外への企業進出、県内の企業や学校へやってくる海外からの研修生、留学生も年々増えています。

今や、教育、文化、経済、技術、あらゆる分野で国際交流が盛んになり、外国抜きにしては、生活は成り立たなくなっています。しかし、国際化への体勢、心構えは整っているでしょうか。そこで、外国から富山へ来られた方方に、見たまま、思ったままを話していただきました。

- 出席者
- 姜 慶淑 韓国出身 富山へ来て7年
 - 山本 COLETTE カナダ出身 富山へ来て12年
 - GREGORY DUNLOP アメリカ出身 英語指導助手として8月来県
 - SUPPIAH KRISHNAN シンガポール出身 不二越研修生として8月来県
 - 車 庆明 中国出身 富山医科薬科大学留学生 富山へ来て3年
- 司会 新居 加一朗 ガイドクラブ会長
 通訳 井波 純子

新居 皆さん、富山へ来られたきっかけは何でしょう。

姜 私は、外国への憧れが強かったんです。在日韓国人の主人と、向こうで見合いをして富山へ来ました。最初はたくさん苦労しました。半年間泣きっぱなし。

山本 私は、大学で英語を専攻していて、二年の夏休みにはじめて日本へ来ました。その時は、富山なんて名前も知らなかった。卒業後国際友の会のメンバーとしてやってきました。田舎に住みたかったので、小矢部で英会話教室を開くというメンバーに付いて来ました。三月でした。東京は、いい天気て青空であつたかくて、富山はすこかった。(笑)

ダンロップ 二年間新聞記者をしていましたが、変わったことをしてみたくて日本の英語の先生に妻と応募しました。富山は指名されて来たのですが、ここに來れてラッキーだと思います。富山の記事を書いてカナダに送りたいと思います。クリシュナン 不二越のシンガポール工場から派遣されてきました。新しい機械の使い方を覚えて、向こうの人に教えませう。

車 ぼくの大学(瀋陽薬学院)は、富山医科薬科大学と姉妹校なので、交流第一号として派遣されました。和漢薬研究所にいます。



車 庆明さん

車 私が研究しているのは、生薬で、成分研究がとても重要です。日本は、分析機器がすぐれていますから。



「遊びにおいで」は「おんなら」のかわり

新居 私自身十三年前に富山へ来て、困った事、びつくりした事がありました。わからない言葉があつて恥ずかしい失敗もしました。皆さんは私よりそんな経験が多いと思います。

車 大学が、市内から離れているので、交通が不便です。三十分か一時間に一本しかバスがこないんです。九時過ぎに町を出ないと帰れません。困るのは言葉です。

姜 「いいです」っていう言葉。日本へ来て間もないころ、主人の友達に韓国のお茶を出したんです。おかわりどうかと聞いたら、「いいです」ほしいのかなと思つて何杯もついであげました。いらぬないらぬないではつきりしてほしい。

新居 「いいです」というのは、私も時々わからないことがあります。

姜 「けっこうです」と言ってくればいいんですけど。ファッションなんかでも「これどう思う」と聞くと、本当は似合わないと思つていても、「いいんじゃないの」と言う。日本語は相手を持つていたために回りくどく言う性質を持つていたりすることが、やっとわかってきました。韓国人は、けんかになつてもはっきり言います。

車 いいですね。

姜 日本へ来る時、父に「日本人はなかなか腹の中を出さないから気をつけなさい。」



姜 慶淑さん

あなたも全部言わないように。」と言われてました。失敗して結構悩みましたけど。山本 むこうは、「遊びにおいで」といわれたら、本当に行つてもいいんです。こつちは、本当かどうかわからない。

姜 これも、わかるのに五、六年かかりました。遊びにおいて」といわれて子供たちと喜んで行くと、すつこく迷惑そうな顔をしているんです。考えてみると、形式的なあいさつだったんです。

山本 「さよなら」のかわりだね。

新居 こういう問題は、日本人との付き合いが深くなるほど出てきます。クリシュナン ぼくは、方言がわからないので困ることがあります。会社の人には、英語だと短く言うし、日本語は早口なのでわかりません。機械などの操作説明も漢字で書いてあるのでわからない。ひらかな、かたかなは読めるけど、漢字はダメです。

一人前じゃ、足りません

新居 食べ物なんかはどうでしょう。
姜 国が違うから味は合いませんね。一番困ったのは緑茶です。友達の家で出されて、飲んでみたら、苦くて苦くて。頭から足までビーツ。気持ちが悪くなりました。「いらない」って言えば良かったんですよ。お茶は、大好きだけど、緑茶は今だに飲めません。

山本 練習しましょう。(笑)

新居 宗教などのために肉を食べない人は結構いますね。日本人は肉の味がしなければいいの思いますが、全然理解し

ていないですね。

車 ほくは、肉より魚が好き。貝も魚もエビも。日本は、肉より魚がおいしいですね。

山本 富山の魚はおいしいし。

クリシュナン 私は、刺身も野菜も生でダメです。

ダンロップ 海の物は、きらいでしたが、日本へ来て、だんだん好きになりました。カナダでは、海の物は煮て食べますが、すしも今は好きです。天ぷらも食べます。
姜 日本は、飾りがきれいでしょ。あつ、これ食べたいて感じになるのが多い。韓国は、見た目は汚ないかもしれなけれど、栄養と量はたっぷり。

山本 熱いものは熱いうちに出してすぐ食べたいね。日本は、特にホテルに泊まると、何時間も前に作ったものを出される。熱い、冷たいは関係なく、見た目のきれいさだけみたい。

姜 日本は、刺身とかが量が少ない。一パック買って、それをまた家族四人で分けるんでしょ。

車 たまに寿司を食べても、一人前じゃ腹がいつばいにならない。

クリシュナン シンガポールでは大きなお皿にたくさん盛ってきます。日本のし



司会・新居加一朗さん

車 私は、通じる時でも外国人のような気がしますよ。

姜 正反対の意味に取られた時、私は外人だなーと思う。通じないときが結構あるから、はじめての人には、「私は韓国人よ。外国人だからね。」と言ってから話をする。

クリシュナン それだけまいから、そういうトラブルがあるんでしょ。私は、そこまで到達していないから。(笑)

新居 言葉は大きな問題だけど、言葉が上手になっても、日本は閉ざされた、中と外がある国だと思います。中に入りこめなくて、自分は外にいるなと感じたことがありますか。

山本 「外人」という言葉自身が「外人」。

車 ほくは、日本人といっしょになれないですね。グループには、入れないです。あまり日本人と付き合っていない。ほくは、短気というか性格悪いですからね。(笑) 何でも正直というか、スパッと言いますからね。

姜 自分が入らないんじゃない、努力しても入れてくれないんです。本当に外人扱い。あなたは別という感じ。そして、あとになって噂するのは、島国の性格的なものかしら。すごく残念なことです。韓国人は、一旦友達になればすごく中に入りやすい。日本みたいにこんなに中に入りやすいとは思わない。習慣とか全然違う



山本コレットさん

からかな。

車 どう付き合えばいいのかわからない。何を考えているのかわからない。心がわからない。

姜 心を出さない。外人だからではなく、日本人どうしても腹は出さないと。本当に友達にはなれるけど、時間がかかる。一度心を出してくれたら、素晴らしい友達になるんだけど。何んとなくカベがありますね。

クリシュナン 同僚たちと回りをウロウロすることはできるけど、日本の人たちのスタイルに入っていくことはできないと思います。僕は、お客さんという感じかな。



スピア・クリシュナンさん

ストランとかは、量が少ないです。でも、もともと口に合わないから、一人前で十分。(笑)

何を考えよう？心を叩く

新居 日本は、今まで自国の事しか考えてこなかったけど、回りの国のことを考えないとまずい時期になってきていると思います。国際性というのは、これからの日本人にとって大事なポイントになると思うんです。国際性について考えていることはありますか。

山本 文部省もだんだん認めているんで

国際交流は、みんなの義務

新居 中と外の問題を克服しないと、日本は世界に開くことができないと思います。歴史とか文化とかいろんな要素があつてこうなつたんだと思いますが、何かアドバイスはないですか。

ダンロップ 国際化という言葉は、見たリ聞いたりするけど、意味がわかりません。

新居 普通は、必要ない言葉だと思えますが、中に閉じこもりすぎた一般の日本人には必要です。

車 ほくたちはいつもTIC(とやま国際センター)の指示に従つてやっているので一方通行になっていきます。国際交流は、互いのこと。TICだけの仕事ではなく、国民の義務。皆さんに声をかけて皆の力で交流をしましょうよ。

新居 いままでのパーティーは、ほとんどが日本人が企画して、外国人を招待していた。その時は、外国の人はお客さんですからね。

車 いま、うちの大学にも四十名近くの留学生がいるけど、彼らにどんな交流会をやりたいか聞いてやってみたらどうでしょう。

姜 パーティに行つても、来る日本人はいつも同じ。それじゃパーティーの意味が

山本 何が好き？

クリシュナン インドなので、カレーライス。日本のカレーは、スパイスが違うので、辛い。

ダンロップ 私は、カレーライスを食べたことがなかったの、日本のカレーを辛いと思つたけど。

姜 キムチも材料を韓国から送つてもらっています。こつちの材料はダメなんです。

山本 奥さんは、どうやって買物や料理をしているの。

ダンロップ ラベルが読めないの、思うようなものは買えません。スパゲティとか、カタカナから想像しています。

しよう。ネイティブスピーカーをたくさん招いて、文法だけじゃなく、スピーキングに少しずつだけ力を入れている。富山も少しずつパーティーや集いやら、外国人と日本人が一緒にいる機会を増やしてますね。

新居 日本語でコミュニケーションできない時、やっぱり外人だなあと感じますか。



グレゴリー・ダンロップさん

ない。市民の皆さんもどうぞという感じで参加させた方がいい。近所の友人も外人と友達になりたがっている。でも、ルートや、行つていいのかわからない。困いにはめたような形になっている。

ダンロップ 私は、まず、もっとたくさん外国人が日本へ来たらいいと思います。そして、もっと日本の学生を外国へ出したらいいですね。外国へ行ったことのある人が、よく私のところへ話をしてくれます。自分の経験を話したがついて

のです。日本人の間で言うといやがられるからでしょう。それと、外国へ行くというのは、団体旅行の意味じゃありませんよ。バリエーションの日本人が旗を先頭に歩いているのを見ました。
姜 全員カメラぶらさげてね。(笑)
ダンロップ その人たちは日本人とだけ一緒にいるから、バリエーションはいたけど東京にいるのと同じ感じだったでしょうね。
山本 その国の人と全然接触がないね。
姜 そう。自分で行って、見て、体験しないとその国のことはわからない。韓国

は、戦時の意識がすく強いです。私にはここに来る前すく不安でした。日本人が韓国を植民地として見下げ、差別がたくさんあると思ってたんです。でも、いろんな人と付き合ってみて違うと思いました。里帰りした時に友達にそう言うのと、「いつ日本人にまどわされたの」って怒るんです。「日本人は、敵」という意識が残っているんです。
車 留学の経験者を集めて、座談会をすればいいんじゃないかな。外国でどんな生活をしたか、どんな待遇を受けたか、

私たちに聞いていることを留学生に聞けばいいかも。
姜 同じような立場でいろんな体験をしているかも。そこで共通点を探して直していけばいいですね。

通訳・井波純子さん



あなたも始めてみませんか 個人個人が主役 富山ガイドクラブ協議会

富山ガイドクラブ協議会は、日本語教室、英語教室、B・B・Cを聞く会の三つのグループが寄り集まっているものです。「このクラブの方針は、組織やグループではなく、個人を主体にした運営です。悪く言えば、まとまりがなく、ばらばらだと言えますが、みんなが楽しくたまる場所になればいいんじゃないでしょうか。」と代表の新居さん。
日本語教室では、授業に簡単なゲームなどを含め、和気あいあいとした雰囲気。英語教室ではビデオも見ます。教室の外へ出て、個人的なつきあいが多いとのこと。
日本語を習う人、英語を習う人、入り乱れてのこの会は、毎月月曜日夜七時富山市奥田公民館で開かれています。



もっとと素直に英会話

木本繁子さん

「ユニークな文化活動の拠点となるのが理想。で、とりあえず、始めてみたのが英会話教室なんです。生きた英語に接する機会の少ない子供らに場だけでも提供したいと思って」と木本繁子さん(42)。入善町の喫茶店ダックスフォームでは、小学生、中学生、大人の部と分け、外国人の先生を招いて英会話教室を開いています。この教室の特徴は「遊び」。小学生は先生を中心にトランプで遊びながら、また大人はフリートークキングで自然に英語を学びます。「英会話というよりも、外国の人と素直に接するのに、なんらかのプラスになれば」と木本さん。日本人、外国人の区別なく気軽に話せるようになるのが理想とか。オープンマインド、心を開くという交流の基本がここにありま

途上国の国づくりにあなたの力を 青年海外協力隊

技能を身につけた青年を開発途上国に派遣し、新しい国づくりに貢献する「海外ボランティア活動」です。隊員は、現地の人々と同じ言葉を話し、同じところに住み、同じものを食べて協力活動を共にしています。
派遣は原則二年間。農林水産、加工、保健衛生、教育文化など約百五十の職種があります。今まで県内から八十五名の方が参加しています。興味のある方は話

を聞いてみませんか。

募集説明会

- 10月27日(木) 高岡文化ホール
 - 10月28日(金) 県民会館七〇四号室
 - 11月17日(木) 黒部市立中央公民館
 - 11月18日(金) 県民会館七〇四号室
- 時間は午後六時～九時
詳しくは、富山県旅券センター
(☎0764・45・4581)



外国人による 日本語弁論大会

聞きごたけくたせいで
日時 / 十一月二十三日午後一時半
場所 / 県民会館大ホール
問い合わせは、富山県船会
(☎0764・41・4657)



留学生と語るつどい

日時 / 十月二十九日(土)～三十日(日)
場所 / 富山県二上青少年の家
対象 / 高校生・留学生
料金 / 無料
申し込み締め切り / 十月十五日
※申し込み・問い合わせは、二上青少年の家(☎0766・21・0001)

いっしょにおしゃべりしましょう
(財)とやま国際センターでは
サロンを開いています。



国際交流サロン

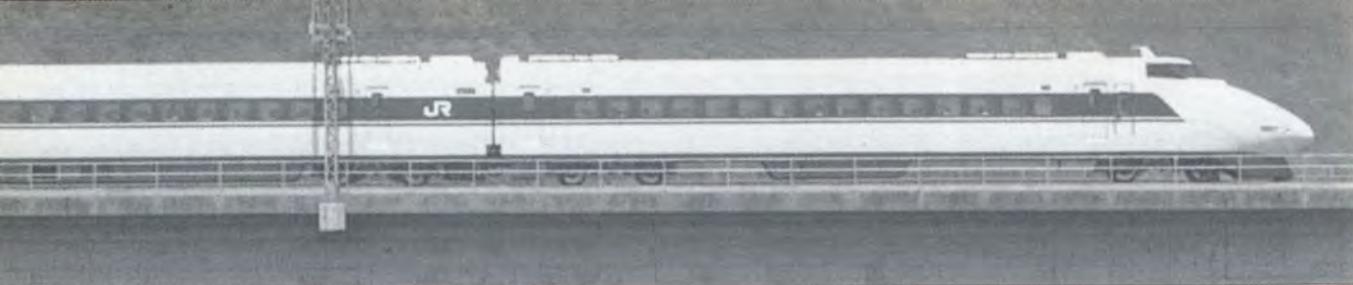
外国人ゲストと楽しくトーク
毎週水曜日七時～八時半
(第一水曜は七時半)

フライデーチャット

サリー・ニューポートさんを囲んで
第一、第三金曜日六時半～八時

日本語講座(外国人対象)

毎週月、木曜日
センターでは、海外諸国の紹介、留学情報や語学関係資料の提供、外国人のカウンセリング等も行っていきます。また、隣接の国際交流サロンでは、海外のビデオも見る事ができます。お気軽にマリエとやま六階へどうぞ。
(財)とやま国際センター
JR富山駅前マリエとやま6F
☎0764・45・4591



北陸新幹線 全線整備へ第一歩

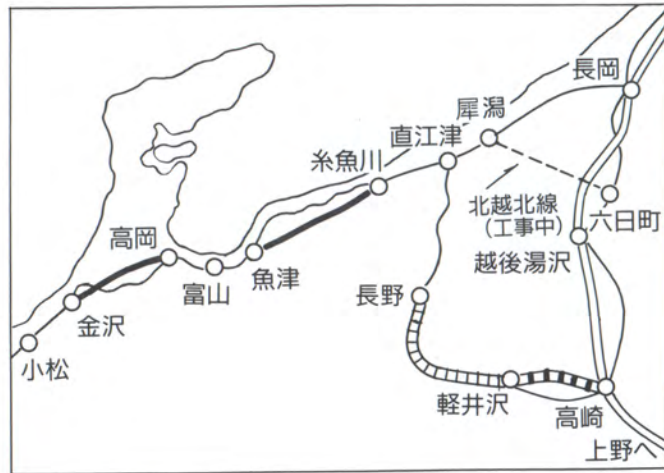


新幹線建設問題については、今年一月から整備新幹線建設促進検討委員会が設置され、北陸、東北、九州の三新幹線について、建設費や鉄道事業の長期収支、国民経済的投資効果などをともに着工順位が検討されてきました。そして、八月末日、運輸省案をもとに、次のことが決定されました。

着工優先順位

- ①北陸新幹線
 - I 高崎・軽井沢間（標準軌新線。軽井沢・長野間については、一九九八年冬季五輪の開催地問題を考慮して三年以内に結論を得る）
 - II 高岡・金沢間（新幹線規格新線）
- ②東北新幹線 盛岡・青森間
- ③九州新幹線 八代・鹿児島間
- ④北陸新幹線 魚津・糸魚川間（新幹線規格新線）

運輸省案によると、上野～富山間は、三時間二十六分（長岡上越新幹線経由）から三十八分短縮されて二時間四十八分（上越新幹線越後湯沢経由で北越北線を利用した場合）となります。このほか、
1. 従来の整備新幹線の整備計画は、すべて維持されることを前提とし、これをその第一歩と位置づける。
2. 今後、経済社会情勢の変化等を考慮して、五年後に見直す。

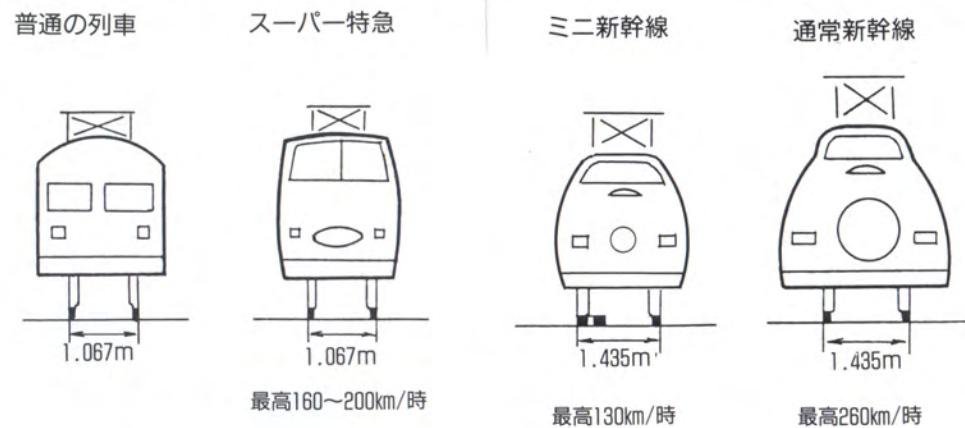


- 標準軌新線
- 新幹線直通線（ミニ新幹線）
- 新幹線規格新線（スーパー特急）
- 既存の新幹線
- 在来線

3. 高崎～軽井沢間については、六十四年度には建設に本格的に着工する。
4. その他の区間等についても、引き続き着工するが、難工事の部分については早期に着工する。
5. 着工の具体的な手順方法は、財源問題、並行在来線の廃止の可否等を検討し、十二月末までに結論を出す。
などが決定されました。

運輸省案とは

厳しい財政状況から行き詰まり状態の新幹線問題に突破口を開くものとして、
①幹線鉄道の高速度は必要である。
②「第二の国鉄」は、絶対に作らない。
③新幹線による幹線鉄道の整備の実現に向けて現実的な考えに立つ必要がある。
という考えを基本に出されたものです。



本格着工の実現に向けて

北陸新幹線は、ふるさとの新世紀を切り拓き、東京・大阪を結ぶ東海道新幹線のバイパス機能を持つ国家的プロジェクトです。そして、何よりも旅客需要が大きく、収支採算性の面で、きわめて優れたルートです。

昭和四十年九月、北回り新幹線構想」として打ち出されてから二十三年。今回の決定により、北陸新幹線は、本格着工に向けて第一歩を踏み出しました。
北陸新幹線の実現に向けて県民の皆さんの一層のご協力をお願いします。

これからの課題

- 財源 建設費は、糸魚川～魚津間で千五百億円、高岡～金沢間で千六百億円かかります。運輸省案では、地方に四割もの負担を求めています。一割が限度と考えられます。検討委員会では、十二月末までに国、地方、JRの負担区分について結論を出すことにしています。
- 並行在来線 廃止の可否等は、十二月末までに結論が出されることになっていますが、新幹線開業後も、地域の足として存続が望まれます。
- 魚津～高岡、糸魚川～長野間など未決定の部分

従来の整備新幹線の整備計画はすべて維持されており、五年後に見直される予定です。
●新駅 新黒部駅は設置されます。高岡駅については、スーパー特急の間は現高岡駅、全線整備後は新高岡駅となります。
●軽井沢～長野間 ミニ新幹線にするには、六百億円の費用がかかり、一旦このような大きな投資をしないと、標準軌新線の建設に再投資することは困難と考えられます。ミニ新幹線のままでは、北陸ルートは、意味がなくなり、長野でのオリンピック開催問題等を考慮して、三年以内に結論が出されます。
●小松以西 小松～武生間の、認可申請の前提となる着工準備作業所の設置が確認されたことから、将来に可能性が残されています。

- 標準軌新線（通常新幹線） 既存の新幹線が走行。最高時速260km
- 新幹線直通線（ミニ新幹線） 在来線レールの外側に新幹線用のレールを一本追加。車両は、在来線サイズの小型新幹線。最高時速130km
- 新幹線規格新線（スーパー特急） トンネルや路盤は、整備計画ルートで新幹線規格のものが新しく作られる。レール幅と車両サイズは、在来線と同じ。最高時速160～200kmのスーパー特急が走行。





PIN-UP TOYAMA

撮影／池端 滋

モトクロス

山すそに吹き抜ける

心地よい風が

ハレルと友情と

砂ほこり汗と家族の笑顔にまみれて青春!

若者も父さんも

腰がつつばしる

道なき道を

「活力と温かい心に満ちた

政策の柱別の計画と実績（事業費）

計画区分	計画事業費A (62～65年度)	実績事業費B (62年度)	進捗率 B/A×100
明日を拓く人づくり	1,043億円	240億円	23.0%
魅力ある郷土づくり	4,021	1,214	30.2
活力ある産業づくり	2,181	582	26.7
その他	11	4	30.3
合計	7,256	2,040	28.1

「順調な進歩」

昭和六十二年度の事業実績をふり返ってみますと、後期事業計画のスタートの年にふさわしく、多数の県民の皆さんの参加と協力により、計画に盛り込まれたさまざまな施策、事業は順調に進展しています。

六十二年から六十五年までの事業計画期間の計画事業費七千二百五十六億円に対し、六十二年の実績事業費は二千四十億円で二十八・一パーセントの進捗率となっています。

三大政策別にみると、「明日を拓く人づくり」二十三・〇パーセント、「魅力ある郷土づくり」三十三・二パーセント、「活力ある産業づくり」二十六・七パーセントとなっています。

「人づくり」については、総合運動公園などの主要プロジェクトが後年度に本格化する計画となっていることから、全体の進捗率を下回っているもので、計画全体が堅調な実績であったと言えます。

美しいふるさと」をめざして

(ここまで進みました)

富山県民総合計画)



昭和五十八年の記念すべき置県百年の年に、県民の英知を集めて生まれた新しい県づくりプラン「富山県民総合計画」も、計画期間前半の四カ年を終え、六十二年から仕上げの後期事業計画がスタートしました。

この間、県民の皆さんの積極的な参加と協力をいただきながら、「活力と温かい心に満ちた美しいふるさと」の実現を目指して、総力をあげて取り組んでまいりました。

県では、毎年度、計画の実施成果を取りまとめ、適切な進捗管理を行うとともに、その結果を県民の皆さんにお知らせしています。

◎62年度事業の主な動き

二十一世紀を目指す県づくりの基礎となる諸事業やプランづくりが積極的に推進され、数多くの事業が計画にそって実施されました。(18・19ページの表を参照)

明日を拓く人づくり



- 日本一の健康県をめざした県民ヘルスプランを推進し、県民総ぐるみの健康づくり運動を展開したほか、胃がん検診車の整備など成人病等健康診査体制の充実を図りました。
- 総合体育センター研修棟・中体育館の開館や空港スポーツ緑地の開園、総合運動公園の用地取得や四十メートル級スキージャンプ台の着工など、スポーツ施設の整備を進めるとともに、富山中央部丘の夢構想の策定など、レクリエーション・リゾート地域の開発構想を進めました。
- 県立中央病院改築の基本構想の策定や
- 日本一の健康県をめざした県民ヘルスプランを推進し、県民総ぐるみの健康づくり運動を展開したほか、胃がん検診車の整備など成人病等健康診査体制の充実を図りました。
- 総合体育センター研修棟・中体育館の開館や空港スポーツ緑地の開園、総合運動公園の用地取得や四十メートル級スキージャンプ台の着工など、スポーツ施設の整備を進めるとともに、富山中央部丘の夢構想の策定など、レクリエーション・リゾート地域の開発構想を進めました。
- 県立中央病院改築の基本構想の策定や
- 生涯学習カレッジの開校準備を進めたほか、県立大学の基本構想の策定や私立大学の設立準備への支援など、高等教育機関の整備を進めました。
- 立山博物館の基本構想を策定したほか、うるおい環境とやま賞の創設や公共施設への文化性の導入など、うるおいのある文化的環境づくりを進めました。
- 青少年をとりまく有害環境の浄化など青少年育成県民総ぐるみ運動を展開したほか、女性プラン県民のつどいを開催するなど、二十一世紀をめざすとやま女性プランの普及に努めました。

魅力ある郷土づくり



- 県民総参加で、まちやむらを美しくする「ふるさとの大クリーン作戦」など、県土美化活動を進めるとともに、花と緑の県づくりをめざし、グリーンプランに基づいて緑化グループの育成を図るなど、各種事業を展開しました。
- 県民生活の安全と安定を確保するため警察航空隊を創設し、ヘリコプターを導入するとともに、通信衛星を利用した防
- 県民総参加で、まちやむらを美しくする「ふるさとの大クリーン作戦」など、県土美化活動を進めるとともに、花と緑の県づくりをめざし、グリーンプランに基づいて緑化グループの育成を図るなど、各種事業を展開しました。
- 県民生活の安全と安定を確保するため警察航空隊を創設し、ヘリコプターを導入するとともに、通信衛星を利用した防
- 行政無線の基本構想を策定しました。
- 住みよい魅力ある地域づくりを進めるため、都市拠点の整備やまちづくりモデル事業などを実施するとともに、総合雪対策条例に基づき、流雪溝・除雪機械等の整備、克雪利雪技術の調査研究、雪に関するイベントの開催など、総合的な雪対策の展開を図りました。
- 県営住宅の建設や住みよい家づくり資金の貸付けなど、安全で快適な住宅の普及を図ったほか、上水道の整備や小矢部川流域下水道の一部供用開始など、生活基盤の整備を進めました。
- 樺平ビクターセンターの開館や自然環境管理計画策定の基礎調査の実施など、すぐれた自然環境の保全と利用促進を図るとともに、県土保全を図るため、治山、治水、海岸保全などの事業を推進しました。
- 北陸新幹線の早期本格着工の要望活動を活発に進めたほか、富山空港の運用時間が第三種空港としては、全国ではじめて十三時間に延長され、また、高規格幹線道路や国・県・市町村道の整備を推進するなど、総合交通体系の整備に努めました。
- 国際交流の拠点として県国際文化センターを開館したほか、第一回「富山県・遼寧省友好交流促進会議」を富山県で開催するなど、積極的な国際交流を展開しました。

産業づくり

活力ある



●技術立県をめざし、試験研究機関への客員研究制度や民間研究所立地奨励制度の創設など、研究開発基盤の一層の充実と図るとともに、工業技術センター富山研究所や林業試験場の基本設計に着手しました。

●花総合センターの開館、公社畜産団地(中部地区)の建設、新湊漁港(東地区)の開港などの施設の整備を進めたほか、ほ場・農道や林道の整備など生産基盤の整備を進めるとともに、地域の特性を生かした産地づくりを進め、特産王国づくりの発展に努めました。

●新しい産業社会に対応した新産業基盤施設整備構想をとりまとめ、具体化への準備を進めたほか、富山八尾中核工業団

地第二期造成工事の完成など、テクノポリスの建設を推進しました。

●コミュニティ・マート構想を推進したほか、商業・サービス業振興ビジョンの策定に着手するなど、商店街機能の高度化、活性化を図ったほか、いきいき富山観光キャンペーンを引き続き実施し、冬の旅観光キャンペーンや各種イベントの開催を進め、通年観光化の促進を図りました。

●高岡市にパート雇用センターを設置するなど雇用の援助を図ったほか、富山県技術専門学院の整備を進めるとともに雇用促進事業団の富山地域職業訓練センターの建設を支援するなど、富山職業能力カレッジの整備を推進しました。

その他

●開かれた県政の推進を図るため、情報公開制度をスタートするとともに、公文書館をオープンしました。

なお、六十二年度の情報公開利用件数は四千四百十三件でした。

★ ★ ★

このほかにも、県民の皆さんが独自の力で実施しておられるもの、あるいは行政との積極的な協力のもとに推進されたもの、国や市町村によって推進されたものなど数多くの事業が展開されています。

これからも皆さんとともに、二十一世紀を目指し、県民だれもが誇りと生きがいを実感することができる素晴らしい郷土づくりに努めていきます。



昭和62年度の事業実施面における主な動き

区分	着工又は完成・開館等したもの	新たに推進した事業等	調査・検討のために新たに設置された組織及び調査・検討結果
明日を拓く人づくり	がん対策基金の造成完了(63.3) 空港スポーツ緑地の開園(62.4) 40メートル級スキージャンプ台の着工(62.6) 総合体育センター研修棟・中体育館の開館(62.10) 総合運動公園の用地取得開始(63.3) 有峰ビジターセンターの開館(62.6) 県立新生園改築の竣工(63.3) 高岡ろう学校移転改築の着工(62.9) 実習船雄山の建造着手(63.2) など	健康づくり県民総ぐるみ運動の推進 2000年国体の開催申請書提出順序の承認獲得(63.3) エイズに関する相談・検査体制の整備 在宅老人通所デイ・ホーム事業の実施 ヤング創造フェスティバルの開催(62.10) 郷土教育推進実践校の指定 うるおい環境とやま賞の創設 21世紀をめざすとやま女性プラン普及事業の推進 など	リゾート地域整備委員会の設置(62.10) 富山中央部丘の夢構想の策定(63.3) 県立中央病院改築の基本構想の策定(62.11) いきいき長寿社会対策連絡会議中間報告(63.3) 児童生徒の問題行動に関する指導検討委員会の設置(62.7) 県立大学基本構想の策定(63.2) 立山博物館基本構想の策定(63.2) 文化の県づくり懇話会の設置(62.4) など
魅力ある郷土づくり	小矢部川流域下水道一部供用開始(63.3) 樺平ビジターセンターの開館(62.5) 富山空港緩衝緑地第2期工事の着工(62.6) 国道359号線・婦中大橋の開通(62.8) 富山空港運用時間の延長(62.7) 県国際文化センターの開館(62.9) など	警察航空隊の設置 ふるさとの大クリーン作戦の実施 都市景観形成ガイドプラン策定事業の実施 とやま森林浴の森の選定 日本海洋情報システムの整備 克雪タウン計画推進事業の実施 バス運行情報モデル実験の実施 第一回「富山県・遼寧省友好交流推進会議」の開催(62.4) など	防災行政無線基本構想の策定(62.10) 海岸アメニティ・マスタープランの作成(63.3) コンピューター航空研究会の設置(62.4) など
活力ある産業づくり	花総合センターの開館(62.4) 薬用植物指導センターの竣工(62.7) 新湊漁港(東地区)の開港(62.7) 漁場環境調査船はやつきの完成(63.3) 富山八尾中核工業団地第2期造成工事の完成 高岡パート雇用センターの開所(62.4) 富山職業能力開発カレッジ(技術専門学院)の着工(62.8) など	県試験研究推進制度の創設 客員研究員制度の創設 民間研究所立地奨励制度の創設 バイオ産業振興協会の設立・運営への支援 水田農業確立県単独助成の実施 低コスト水田作パイロット事業の実施 特産王国パイロットファーム育成事業の実施 下請中小企業調整円滑化資金貸付制度の創設 など	農業新技術研究開発(アグロフロンティア)委員会の設置(62.8) 新産業基盤施設整備構想の策定(62.7) 新しい産業基盤施設懇談会の設置(62.11) 商業・サービス業振興ビジョン策定委員会の設置(62.7) など
その他	公文書館の開館(62.4) など	情報公開制度のスタート(62.4) 《62年度の情報公開利用件数は4,413件》 など	



実践さながらの緊迫感！ すばやい救出に思わず拍手……

富山県総合防災訓練

レポーター 飯森 希宗子(富山市)

富山湾で地震発生！ 津波・火災など 様々な災害を想定して

富山湾で地震が発生し、津波、構造物の倒壊、火災などさまざまな災害が起きたと想定して、訓練が行われた。

午前八時三十分、本部長への出動報告により、訓練開始。

第二会場では病院、第三会場では高層ビルと、条件が大きく違う場所で火災訓練があった。病人という弱者がいる場での避難誘導や担架搬送がいかに大変か、「高い」所からいかにすばやく避難させるか、改めて誘導する側の適切な指示と判断が重要であると思った。

第三会場には、大きなタンク車。バケツに水を汲みに行く住民達。テレビでなら見たこととはあったが、訓練といえども目の当たりにするとただならぬ緊張感を感じた。

第四会場ではバスを降りた途端、消毒臭と白い煙。防疫が始まっていたのだ。無知な私は、津波による浸水で畳などから伝染病が発生する事を知らなかった。この会場で一番興味深かったのが、三角巾を使った応急手当と担架づくり。毛布一枚と物干竿二本だけで、一分足らずで担架ができてしまった。

「へリによる救助に
思わずドキドキ……」

九月一日は「防災の日」。そこで九月二日、新湊市内の六会場で「富山県総合防災訓練」が盛大に行われた。

また、陸上自衛隊による応急架橋。水流が毎秒二メートル以下、川幅が二十五メートルであれば、十五分で架けることができ、水流が一メートル以下であれば、一分間に一〇〇人の通行が可能だという。一見、低い吊り橋風で多少の揺れはあるが、アツという間にてきてしまうのには驚いた。

第六会場で「すごい」と思ったのは、へりによる船からの負傷者救助。ロープに負傷者をのせてスルスルと吊り上げるのだが、見ている側が思わずドキドキしてしまい、無事救助された時には拍手したくなるほどだった。

第一会場でも、へりを使った海難救助が行われ、再び「すごい」と思った。へりから救助員が降り、浮輪みたいなものを脇下に入れ吊り上げるのだ。また、アクアラング隊（かっこいい名前だ）が潜水して、仮死状態で水没している一名（これはさすがにマネキン人形であった）を収容するのも感動ものだった。食糧の炊き出しは、ハイゼックスという、

ご飯に梅干を入れたおにぎりみたいな物。お湯に入れて温めれば食べられるという非常食であった。はつきり言って食欲をそそるものではなかった……。

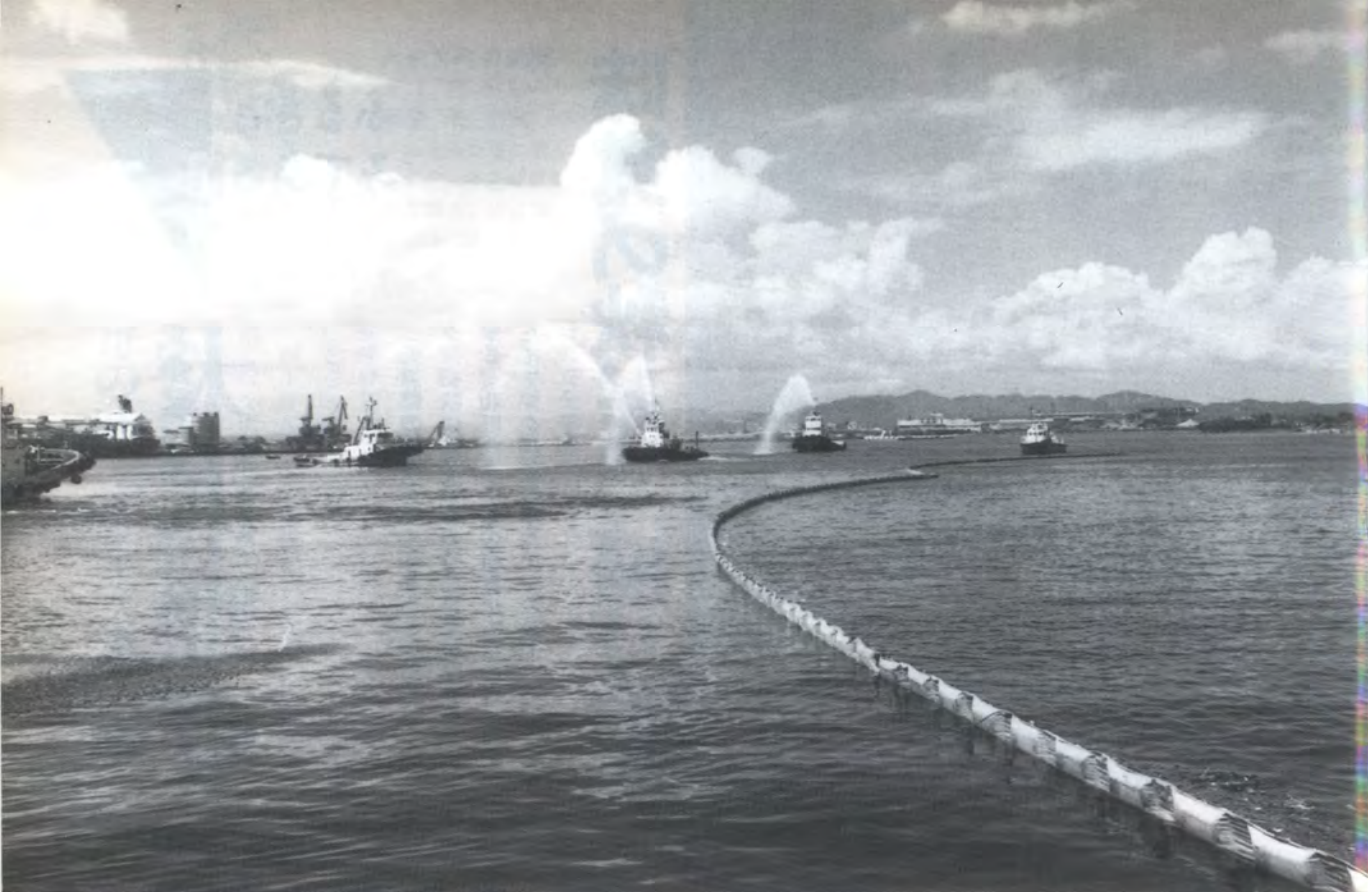
医療救護は各所で行われていたが、右脚骨折、意識障害など負傷個所を各々設定し、実践さながらの応急処置を施していた。細かい考慮による訓練に感服した。

《訓練を見学しおえて》

まず一言——大変疲れた。なにしろ訓練種目は四十三で、駆足のつまみぐい見学であった。訓練は住民や各団体の協力の賜物であり、また訓練は「見る」ものではなく、参加するもの。だとしみじみ思った。身をもって体験することが必要で、災害は忘れた頃にやってくるのではなく、忘れないうちにやってくる。という本部長の言葉が心に残った。

へりを多用した空からの訓練は、初めて見たので感動ものだった。「どこにおいても、一番早く救助できるところが出勤する」ということの意味がよくわかり、的確に行われていた。

災害は起こらないにこしたことはない。そしてこれはあくまでも訓練であった。実際に災害が起った時、どこまで迅速かつ冷静にできるか。この訓練が万が一の時、きつと生かされるだろう。



大沢野町

大沢野の特産といえばなんといってもイチジク。初秋には、特有の香りがイチジク党を刺激する。北野茂さん(70)の裏庭にもほのかに色づいたイチジク畑が広がっていた。

味覚の秋、まっ盛り



「大沢野は新しく開墾された土地で水の便が悪く、土地も肥えてはいません。だから、そういう所でも育つイチジクの栽培がさかんになったんです。また、この辺は強い風が露を切ってくれるので、腐りやすいイチジクの栽培には適しているんです。」



「大沢野町では、おいしいイチジクを作るために出荷者自らが検査します。また、地元市場だけを目標にしているの、ほんとに熟したものをしか出しませ

こうした土地柄を受けて、地元のお菓子屋さんが開発したイチジクもなか、イチジクようかんなども売りに出されている。現在はイチジクワイも研究されているとか。また、昨年は笹津にイチジクの見本園がオープンするなど町をあげてイチジクの特産化に取り組んでいる。

イチジクは栄養が豊富で便秘にも効果があるとのこと、また、イチジクに含まれているペクチンも効果があるという。イチジクは今は食べ頃。新鮮な大沢野のイチジクは食欲の秋を満喫させてくれる。

旧飛驒街道を辿る

杉下清一さん

「飛驒街道は越中と飛驒を結ぶ、いわば生命線。塩や米などの生活必需品が、かつて、この道を通っていたかと思うと感慨深いです。」と語ってく



れる杉下清一さん(80)。杉下さんがこうした研究をするようになったのは町史編さん事業に関わって以来のことだが、当時、村の古老の話を聞き、自分で調べるうちに自らものめり込むようになったのがそのきっかけだという。

「大沢野側の東街道は戦国時代までは交通の要衝、吉野銀山あり、猿倉城あり、戦国の上杉氏の上洛を阻む武田氏の最前戦基地でもあったんです。江戸時代になってからは安全な西街道が使われるようになったけど古くからあった東

大沢野町の概要

人口 20,613人
面積 75.90km²

旧飛驒街道に沿った南北21kmの細長い町で、街道の宿場町として発達した。神通峡県定公園の中でも激流が岩を噛む片路峡は、目をみはる景勝地。神通川をせき止めている巨大ダムや林立する数多くの変電設備は、電源富山を代表する景観である。



街道は当時大動脈として私たちの先祖の生活を支えていたんです。

生活に深く関わってきた街道故に、また、険しかったが故に街道にまつわる話は多い。

例えば「小糸にある大垣宗左工門の碑は道幅が狭く、一方が崖という片路峡を年貢米を積んだ牛が通れないと殿様に直訴し、年貢を金納にさせた大垣宗左工門を記念して建てられたもの。また、道中にある「牛が増」という地名は、この付近の坂が急で普通は三頭で運べる荷が牛五頭に増やさないと運べなかったことからついた名です。この他に、数多くある野仏も街道の通行の安全を願ったものなんです。」

熱っぽく語る杉下さん。現在はいろいろな職業について研究中とか

「町の歴史を調べると今までわからなかったことが浮き彫りになってきます。こうした研究を続けてくれる若い人が出てきてくれると安心してできるんですが」

杉下さんは町の歴史の語り部、次世代に語り継ぐべく研究を続けている。

ふるさとの味を生かして 母の味……ここがね会

「どうせやるんだつたら町の特産品を生かしてなにか。」とラッキョとイチジクの加工に取り組んでいる「ここがね会」。農村若妻学級の卒業生が十年後に再会したのが発足のきっかけとなったというこの会は、持ち前の旺盛な好奇心と果敢なチャレンジ精神、それとちよつとの遊び心でこれまでに数々の新しい「味」を生みだしてきた。

「ラッキョの酢漬、味噌漬、粕漬、イチジクのジャム、ワイン煮などいろいろなものにチャレンジしてきました。例えば、漬け物なら、どうしたら一番おいしく漬けられるか、塩づけが先か、洗った後すぐがいいのか、みんなていろいろ話し合い、試してみます。でも結局、みんなて集まりワイワイとやっているのが楽しいんですけれどね。」というのは初代会長の出町スミエさん(60)の弁

「自慢の味はラッキョの酢づけという出町さんは「お父さんの評判もなかなかよくなって」と思わず顔もほころぶ。目下、取り組んでいるのがラッキョのワイン漬けとか。「今は暗中模索の状態。おいしいものを作りた」



大沢野の特産を生かしたこの研究会、新しい大沢野の「味」の発見に大きく貢献している。



機能分担による拠点都市づくり

本県は、県土全体が均衡ある発展を遂げている反面、大都市が成長せず、魅力ある都市や、新たな産業が生まれにくくなっています。今後は、各都市の機能を生かした特色ある都市づくりを進めていってはどうでしょうか。たとえば、

- 高次サービス（アフターファイブ）都市
富山市には、高度の情報通信、文化・消費サービス機能を持たせる。
- 文化・産業複合都市
高岡市は、伝統産業技術に新しい技術を融合させ、伝統文化を活かした都市に。
- リサーチ&ハイハイテーション都市
中央部丘陵地では、研究施設と研究者用のハイレベル住宅を整備。
- 国際学園研究都市
- 未来文化創造都市
- 野外自然博物館都市
- マリン都市
などが考えられます。

ほかに、動く海洋情報基地として、海洋博物館の建設や立山・黒部一帯を国際的な山岳・雪リゾート基地として整備するという提言もあります。

また、これらの拠点をつなぐ県内一周の大環状ルートを整備し、沿道にチューリップなどを植えてはどうでしょうか。

現代は、車社会であり、車は今後とも増え続けることが予想されます。そこで市街地中心部の新交通システム（効外で一旦乗り換えて市街地に入るパーク・アンド・ライド方式）、地下鉄、地下街の整備などを総合的に考えていく必要があります。

美しく個性ある地域をつくる

21世紀の街づくりのために、家の前は花鉢やシンボルツリーで飾り、街角には花壇やオアシスのコーナーなどを設け、これらを街並みに発展させていく運動が大切です。

農村地帯では、豊かな自然などの田園の良さ（ルーラル・アメニティ）を生かし、都市公園、自然公園とは異なる第3の公園体系としてルーラル・アメニティ公園を整備していったらどうでしょうか。

過疎化、高齢化が進んでいる山村では、伝統文化や自然との温かいふれあいを大切にしつつ、まちとむらが提携して各種の事業を行っていったらどうでしょうか。

本県は、日本一の花と緑を目指していますが、長期的視点からの緑のシステムづくりが必要です。山の辺、河の辺、海の辺のラインと山、海、里の眺めを複合させて、全県を公園化してはどうでしょうか。また、水準の高い花の名所の整備や緑の文化条例の制定などが提言されています。

一方、本県の恵まれた水資源を生かし、水の王国づくりを進めたらどうでしょうか。せせらぎのある街を再現し、シンボル公園と水の博物館を建設するという提言がされており、ほかに、「雪を生かして」とやまスノーカディア（雪の桃源郷）づくりを行うといった提言もあります。

報告書を読んでみたい方、21世紀の富山県づくりに意見や提言をお持ちの方は、県庁企画調整室総合計画班 ☎0764(31)4111 内線324まで、ご連絡下さい。



富山の21世紀がどんな社会になるのか、たくましく21世紀を生き抜くにはどうしたらよいか。県庁の職員で構成する「とやま21世紀研究会」が研究した成果をまとめた報告書「とやま21世紀への戦略（とやまデザイン）」の概要を前回に引き続いて紹介します。

「機能的で美しい郷土の形成」から

10月は国保強調月間です



（みんなで育てよう、国民健康保険）

国民健康保険法施行50周年記念式典

国民健康保険制度が生まれて、五十年になりました。国保制度は地域に住む人々が病気やケガのとき互いに助け合うという、「相互扶助の精神」のもとに誕生したものです。

国民皆保険の時代となった今日、国保制度は私たちの生活にかけがえのない存在であり、医療保健制度の中核となっています。しかし毎年増え続ける医療費に、国保の財政が追い付かなくなっています。

制度誕生から半世紀、もう一度国保を見つめなおし、私達自身のため、そして私達の子孫のために、大切に育てていきたいと思います。

日時 十月十七日（月）午後一時三十分

場所 富山県教育文化会館ホール

内容 表彰
富山県音楽隊演奏
記念講演（ケシー高峰）
パネル、ポスター、標語展

健康保険・厚生年金保険の適用範囲が広くなりました。

これまで健康保険・厚生年金保険は、従業員が五人以上の事業所（農林水産業、飲食店、サービス業などを除く）を対象としていましたが、六十三年四月からは、常時一人以上を使用する「法人事業所」は、すべて加入することが義務づけられました。まだ加入でない方は、もよりの社会保険事務所へおたずねください。

労働保険制度

安心して働くために

労働保険は政府管掌の保険です。労働者を一人でも雇用している事業は、強制適用となっております。事業主や労働者の意思の如何にかかわらず必ず加入の手続きをしなければなりません。ただし、農林水産事業のうち、五人未満の労働者を雇用する個人経営の事業は、自分の間、任意適用です。

この制度は、就業中や通勤中の事故等災害を補償します。また、やむを得ない理由等により離職し、失業した場合に、失業給付金を支給して、生活の安定と再就職をすすめます。さらに、失業を予防し、雇用機会を増やすため事業主に対しても助成をしております。このような労働保険制度は、労働者・事業主にとって極めて重要な制度となっております。

未加入の事業主の方は、最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所で加入手続きをお願いします。

年に一度は成人病予防健診を

政府管掌健康保険では、被保険者と扶養されている配偶者（三十五歳以上）の方に成人病予防健診を行っています。事業主を通してお申し込みください。

詳しくは、富山県社会保険協会
☎（0764）32-3297へ。



県政の動き

8月11日～9月10日

8月15日 第26回富山県戦没者追悼式

8月19日 ネットワーキングフォーラム in とやま (~21日)



8月20日 富山空港開港25周年記念式典

8月21日 自治体消防40周年記念富山大会

8月22日 全交母キャラバン隊出発式

8月23日 知事のまちなまり・語るつどい (富山市)

8月24日 ライブとやまティーチン (~26日)



8月27日 第7回北方領土返還要求富山県大会
農業改善普及事業発足40周年記念大会

8月30日 防災講演会

8月31日 「2000年国体」準備委員会設立総会

9月1日 夏季国体結団壮行式

9月2日 富山県総合防災訓練

吾妻兼次郎展開会式

9月3日 コロンブス計画
第3回ティーチン



第13回県青少年美術展開会式

9月5日 障害者雇用促進街頭キャンペーン

9月6日 とやま国際水シンポジウム (~7日)

9月7日 障害者雇用促進大会

9月9日 救急の日

一日救急センター
一部長



STOP!

県民総ぐるみ交通事故死亡事故ストップ作戦実施中

安全速度で楽しいカーライフ

若者の交通事故が多発しています。
スピードの出しすぎや無理な追い越しは
やめましょう。

昭和63年10月街頭献血

日	曜	場 所	時 間
1	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前 高岡駅前	10:00~16:00 10:00~15:30
2	日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前 氷見市ハッピータウン前	10:00~15:30 10:00~15:30
8	土	富山西武前	10:00~16:00
9	日	富山西武前	10:00~16:00
12	水	宇奈月町富山相互銀行宇奈月支店前	10:00~15:30
15	土	富山駅前 砺波市ジャスコ砺波店前	10:00~16:00 10:00~15:30
19	水	大沢野町役場前 大沢野町図書館前	9:30~12:00 13:00~15:30
20	木	庄川町役場前	10:00~15:30
22	土	富山駅前 高岡駅前	10:00~16:00 10:00~15:30
27	木	城端町役場前	10:00~15:30
29	土	富山駅前 高岡駅前	10:00~16:00 10:00~15:30

ソ連またはモンゴルに
強制抑留された方へ
慰労品を贈呈します

対象/戦後、ソ連またはモンゴルに強制抑留された方で日本に帰還した方または遺族。

贈呈品/慰労品(書状、銀杯)
年金、恩給等を受けていない方には、さらに慰労金十万円を支給します。

請求先/請求書類に必要書類を添えて「平和祈念事業特別基金」へ。
▼請求書類は、県庁社会福祉課恩給援護係、市町村役場にもあります。
※詳しくは、平和祈念事業特別基金業務第二課へ。

〒112 東京都文京区大塚五―三―十三
☎03・945・4703

秋の薬草に親しむ会

日時/十一月十一日(金)10時~15時
場所/富山県薬用植物指導センター
内容/薬草の育て方と使い方(講義)
薬草園見学、薬用酒の作り方
申し込み/十一月七日までに往復はがきで、薬用植物指導センターへ
(〒930-0103 上市町広野
☎0764・72・0801)

所在地
富山市舟橋北町7番1号
富山県教育文化会館3F
☎0764・41・8635
内線340、341

●申し込みは富山県総合教育センター教育相談部へ。

このほか、県内各地で行政相談所を開設します。詳しくは、富山行政監察事務所(富山市牛島新町11-7 ☎0764・31・1100)へ。
なお、ここではいつでも行政相談を受け付けています。



特産王国とやま フェスティバル

日時/十月十五日(土)~十六日(日)
九時半~十七時
場所/テクノホール
◎食品から伝統工芸品まで県産品を展示・即売します。実演や特産の女王コンテスト等楽しいイベントもいっぱい。



催しもの

相談

学校きらいのいじめ、教育相談へ

富山県総合教育センターでは、教育相談に応じています。
●相談内容 学校きらい・成績の低下・進路の悩み・性格・しつけ・いじめ・暴力・心やからだの発達の遅れや異常
●相談方法 来所・電話・手紙などによる相談
●所員が応対して、よりよい解決法を考えていきます。
●専門医や心理学者などの力をかりて、問題の解決をはかることもあります。
●教育相談訪問員による相談

一日行政相談所を開きます

10月16日(土)~22日は行政相談週間
富山行政監察事務所では、行政に関する苦情や意見・要望等を聴き、その解決や実現をすすめています。
十月十六日(土)~二十二日の行政相談週間には、一日合同行政相談所を開きます。お気軽にご利用下さい。
●十月十八日(火) 大和富山店八階 文化ホール
●十一月八日(火) 大和高岡店 五階ホール
※相談時間は、いずれも午前10時~午後三時まで

相談日時

相談専用	0764・33・8818
月・金	13:00~17:00
火・水・木	9:00~17:00
土	9:00~12:00

終戦当時の引揚者の方へ 通貨・証券などを お返ししています

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。
★ 終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨・証券など
★ 外地の集結地で総領事館などに預けられた証券などのうち日本に送り返されたもの
※御家族の方でも結構です。心当たりの方は、税関へお問い合わせください。



大阪税関監視部特別監視官(第一担当) 番4号
〒552 大阪市港区海岸通2丁目1
☎06・576・3108
06・576・3115

伏木税関支署
〒933-0115 高岡市伏木錦町11番15号(伏木港湾合同庁舎)
☎0766・44・0163

伏木税関支署 富山出張所
〒931 富山市東岩瀬海岸17番地の2(富山港湾合同庁舎)
☎0764・37・9895



ことば 継承 建築と心

古来、熊野新宮の参詣路（熊野街道）として栄えた大門町二口の歴史は古い。付近の丘陵から出土する縄文遺物や、すでに農業生活のあったことが推察される弥生土器も多く、王朝時代には北陸往環（後の中田街道）がこの地に開け、都の文化が早くから流入された。

そんな歴史ロマンの数々を秘めながら、しっとりとした町並みを今に残す街道に、ひととき優雅な吾妻建の民家がある。漆喰壁や木組、日本瓦が造り出す構成美、そして街道わきの民家らしさを醸し出す「さむすこ」と言われる格子戸が印象的である。

時は、明治元年から五年の歳月をかけて建築された。今日では考えられない意

気込みと余裕である。しかも、もつと驚くことに使われている木材のほとんどが、親子二代にわたって集められたものなのである。

「家」というものは、家系という精神的存在だけで伝えられてきたものではなく、建築という「形の言葉」でも継承されてきたのかも、しれない。父と子で用材を集め、子の代で数年かけて建ち上げて、それを孫の代で数十年ごとに普請しながら住み続ける。なんと美しい継承であろうか。この吉田邸からも、代々住み継いできた人々のそんな思いが伝わってくるようだ。

一方、住み伝えられる建築の陰には、必ず職人達の優れた仕事がある。この家の棟梁は、吉田清九郎という宮大工であったと伝えられているが、当時彼は「一代の名残し」になるような仕事をさせてほしいと懇願したという。まさに職人である。世俗に汚れた名誉欲からの「名」ではない。仕事に惚れた男の美学だ。

日本で最も美しい民家建築の一つと称賛される「吾妻建」を、これほど見事な町屋として残した例は少ない。確かに、財をもって吟味した櫺の用材で組み上げられた室内の木組には、非凡な建築主と名工達の技がうかがわれるが、「家」を伝えた頃の人々の思いは同じではなかった

ろうか。

ここにもう一つ、「継承」という美しき音色を奏で続ける建築があった。それは、現代が喪失した音色でもあり、忘れかけた暁の光でもあるようだ。

写真・風間耕司
文・岡田順一



見て感じて 県政広報映画

ハイビジョン・ソフト

「立山・黒部」15分

「富山空中散歩 立山・剣岳」23分

「富山空中散歩 黒部峡谷」22分



立山や黒部峡谷の大自然を空撮などで紹介しています。ハイビジョン方式で撮影しており、臨場感あふれるものとなっています。

家庭用ビデオ（ベータ・VHS）でも貸出していますので、ぜひハイビジョンの迫力をお楽しみ下さい。

※ハイビジョンとは、NHKが開発した高品位テレビで、走査線が現行の約二倍（千二百二十五本）あり、画面の横と縦の比も現行の四対三から五・三三対三と横長のワイド画面となったものです。利用申し込みは県庁広報課へ。

みなさんの相談窓口

相談110番

- 暴力団に関するもの
 - 家庭問題や民事に関するもの
 - 困りごと
 - 覚せい剤、悪質商法、公害に関する苦情や相談
 - 過激派（極左暴力）集団に関するもの
 - その他警察に対する要望や苦情
- など、どんな相談にも応じます。
- ☎(0764)42-0110
(ヨニワイルヒトナシ)

消費生活については

- 消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
〈一般相談は〉
☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉
☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

県政については

- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

見てください・聞いてください、県からのホットニュース

60 TV

テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
10/2 イメージアップフォーラム
10/9 とやまデザイン21 ~とやま21世紀への戦略~
10/16 わたしたちのふるさと選挙
10/23 図書館活動 ~読書週間~
10/31 健康と長寿の祭典
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

RADIO

ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

N P NEWS PAPER

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎月第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- 朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

★奥田公民館で行われている日本語教室には、世界各国の人たちが集まっています。当日は新学期ということと、私まで自己紹介させられたのですが、「県庁」という言葉が説明できない。さらに、他の人の名前を発音できない。語学力の弱さを改めて自覚しました。

★大沢野町の殿様清水。そのネームにひかれ、歩くこと十五分。ありました、ありました、大きな看板とこんこんと湧き出る泉が。とりあえずは腰を下して、「いわれ」を読んで。それから一口。うん、まろやか。ちよつとだけリッ子な気分浸った午後でした。



ひとりよりも、
おそろいでどうぞ。

10月23日 富山県知事選挙

富山県・市町村選挙管理委員会／富山県・市町村明るい選挙推進協議会